

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年11月18日

新型コロナパンデミックが、HIV、結核、マラリア対策を後退させた

【松崎雑感】

新型コロナパンデミックのために、一般医療機能の低下がもたらされることは、大きなマイナスをわれわれにもたらします。感染症についても、中低所得国で数百万人の死亡と障害をもたらすトラディショナルな感染症の予防と早期発見、治療が後回しになることは、地球全体として、経済的にも大きな損失ですが、何よりも、生まれてきた人々が命と、生の喜びを全うできない状態が増えることが大問題です。

新型コロナパンデミックが、HIV、結核、マラリア対策を後退させた

Kuehn BM. COVID-19 Rolls Back Progress Against HIV, TB, and Malaria. **JAMA**. 2021 Oct 19;326(15):1471. doi: 10.1001/jama.2021.18252. PMID: 34665195.

Global Fundは、結核治療、HIV予防、マラリア医療が新型コロナパンデミックにより、世界的に後退したとの報告書を発表した。

Global Fundは、HIV、結核、マラリア対策のために20年前に設立された非営利官民パートナーシップ機関である。これらの疾患対策のため、毎年100か国以上に40億ドルを提供してきた。

しかし、コロナパンデミックのために、HIV検査数が2019年の1億3400万件から2020年に1億400万件に減少した。

(性感染症予防のための)男子割礼数もこの期間に27%減少した。HIV感染妊娠女性から胎児への感染を防ぐための抗ウイルス薬投与数も4.5%減少した。

結核医療も後退した。2020年に検査と治療を受けた人々は前年より100万人少なく、多剤耐性結核菌の増加が懸念されると報告書は述べている。

マラリアの検査は4%、治療は0.5%減少している。

しかし、蚊の刺創を防ぐ蚊帳の配布は17%、殺虫剤散布が3%、マラリアの予防治療を受けた妊婦数が1%増加した。

「新型コロナパンデミックにより、Global Fundが積み重ねてきたこの20年間のHIV、結核、マラリア対策分野における進歩が大きく後退した」とこの報告書の作成者でFundのエグゼクティブディレクター、ピーター・サング氏は述べた。